

平成 24 年 4 月 26 日

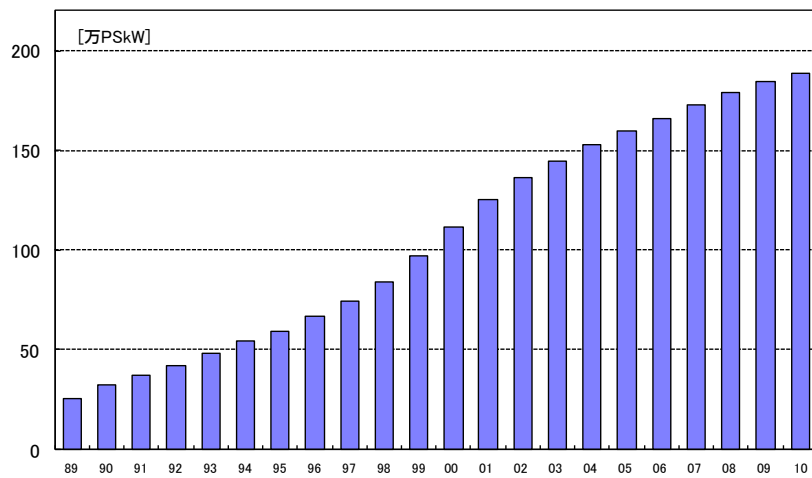
一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

## 蓄熱システムの節電ポテンシャル

### 1. 現在の蓄熱システムによるピーク電力削減量

約 190 万 kW (H22 年度末実績)

※H22 年度の増分ピーク電力削減量は約 4.5 万 kW (全部門)



### 2. 蓄熱システムによるピーク電力追加削減ポテンシャル(業務部門)

約 26 万 kW/年

※1 万 m<sup>2</sup> の建物に導入したケースでは約 140kW のピーク電力削減効果を想定

#### <想定方法>

国内の業務部門着工延床面積<sup>1)</sup>から夏季ピーク時の業務用電気式空調熱源電力を算定<sup>2)</sup>。

蓄熱システム導入<sup>3)</sup>によるピーク電力削減ポテンシャルは約 26 万 kW/年。

1)国交省 着工統計 H23 年実績 (事務所 4,772 千 m<sup>2</sup>、店舗 5,342 千 m<sup>2</sup>、公共 8,470 千 m<sup>2</sup>)

2)単位空調負荷を乗じて算定

3)熱源最大電力の 50%を削減できる蓄熱システムを想定

以 上